

千葉教育

梅

令和5年度
No.683

千葉の子どもたちの未来のために

特集

キャリア教育の推進

○シリーズ 現代の教育事情

県教育庁教育振興部学習指導課

県立習志野特別支援学校 校長

県立茂原高等学校 教諭

川崎 洋子

太田代 里子

○提言

米屋株式会社 代表取締役社長

諸岡 良和



千葉県総合教育センター

- ◆学校自慢 創立120周年を目指して～次のステージへ さらなる飛躍を～ 県立多古高等学校校長 成川 賢一
 ◆提言 経営者として学校教育に望むこと 米屋株式会社 代表取締役社長 諸岡 良和…2

シリーズ 現代の教育事情 キャリア教育の推進

- 系統的なキャリア教育の推進に向けて 県教育庁教育振興部学習指導課…4
 ■児童期の今必要な力を育てるキャリア教育 県立習志野特別支援学校校長 川崎 洋子…6
 ■街にこそ、師あり！～『茂高街塾』の取組・入学から現在までの報告～ 県立茂原高等学校教諭 太田代里子…8

チーム学校の仲間たち

- 学校を創る 「ものづくり 人づくり 夢づくり ～下総高校の取組」 県立下総高等学校校長 長野 泰紀…10
 ■学校を支える 学校をアップデートする～「つながり」を意識した教頭の役割を通して～ 八街市立八街中学校教頭 榊原 岳…12
 ■学校を動かす 家庭科の魅力とは～生徒の力を最大限に引き出す工夫を～ 船橋市立第一中学校教諭 船迫 千春…14
 ■授業を創る 一人一人が深い学びを具現化し、わかる・できる喜びを味わう体育学習～学びの系統性をとらえ、自己実現できる学習を通して～ 船橋市立行田中学校教諭 柘植 晴登…16
 ■授業を創る 生徒主体の生徒会活動を目指して 県立安房高等学校教諭 塩谷 康介…18
 ■学校で伸びる 子供が見えない所を伝える 白子町立白濁小学校教諭 野村 憲伍…20
 ■学校で伸びる 「発信する力」の育成を目指して 印西市立船穂中学校教諭 上島 直也…20
 ■幼児教育の今 主体的な学びと協働的な学びで、小学校にバトンタッチ!! 東金市立公平幼稚園園長 市原 純子…21

長期研修生報告

- 令和4年度長期研修生の研究の紹介 令和4年度長期研修生…22
 ■教職大学院研修生の研究の紹介
 個別最適な学びを実現するための学びの枠組みの在り方ー小学校4年生算数科の授業実践を通してー 市川市立富貴島小学校教諭 割田陽二郎…26
 不登校対応のための小学校における別室支援の在り方ー不登校支援の現地調査を通してー 松戸市立根木内小学校教諭 齋藤 潤…27

ケーススタディ～Change the world～

- ICT環境整備とICTを活用した授業改善・業務改善 県立長生高等学校校長 河野 安勝…28

情報アラカルト

- 令和5年度「センター研究発表会」のご案内 県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発班…30
 ■令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の活用について 県総合教育センター学力調査部…31

学校 NOW!

- 我が校の働き方改革 みんなで取り組む働き方改革 いすみ市立東海小学校校長 青木 慎哉…32
 ■高校NOW! 【連載・県立高校の今】第4回 鎌ヶ谷西高校（保育基礎コース） 国府台高校、成東高校、大多喜高校（教員基礎コース） 県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室…34
 ◆発信！特別支援教育 思いっきり遊ぶ単元の魅力 単元「まいにち すべりだい」～すべり台ランドを作って、みんなで遊ぼう～ 千葉市立金沢小学校教諭 吉田 優子・鎌田 俊一…38
 ◆千葉歴史の散歩道 土器ッと古代“宅配便” 県教育庁教育振興部文化財課文化財普及・管理班 上席文化財主事 西村 壇

道 標

平成23年1月の中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」は、従来の学校段階ごとの考え方や、教育界、産業界等ごとの立場を超えて、各界が一体となって取り組む必要性を現状分析から具体的方策まで網羅的に提言し、幼児期の教育から高等教育までを通じたキャリア教育・職業教育の在り方をまとめた画期的な答申であった。

国は、教育振興基本計画（以降、計画という。）にその趣旨を取り込み、現在の第3期計画でも、五つある方針の中の目標の一つに「社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成」を掲げ、キャリア教育・職業教育の推進をうたっている。

本県においても平成22年3月の第1期計画から現在の令和2年2月の第3期計画まで「キャリア教育」を主な取組と位置付け、現計画では、特に「学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進」を重点に置いている。これを受け、高校生を対象とした「課題探究型キャリア教育ゼミ」の実施や、「小・中・高等学校を通じた系統的なキャリア教育」という視点での「キャリア教育の手引き（令和5年3月）」の改訂など、キャリア教育の一層の推進を図っているところである。

本号では、本県のキャリア教育推進の現状について紹介する。この特集が各学校が目指す「系統的なキャリア教育推進」の充実に向けた一助になれば幸いである。

【お詫びと訂正】 菊号34ページの筆者名のふりがなに誤りがありました。お詫びしますとともに、次のとおり訂正します。
 （誤）村田 正志（むらた まさし） → （正）村田 正志（むらた ただし）